



編集発行：寝屋川市社会福祉協議会ボランティアセンター

電話：072-838-0400

URL <http://www.neyagawa-shakyo.or.jp>

おもな Contents :

- 国松緑丘校区ボランティア部会紹介
- ボランティアと個別援助活動
- 「まちかど福祉相談所」情報

「ボランティアの夏」到来 体験プログラムも充実

7月2日～8月31日の期間、大阪府内の高齢者施設、障害児者施設、乳幼児施設などの体験ボランティア受入協力施設で、半日～3日間ほどの短期間で施設内外のボランティア体験ができます。

ボランティア活動を始めるときかけがほしい、短期間のボランティア体験を試みたい、施設ではどんな仕事があるのかを知りたい、という人を対象にした体験プログラムです。

寝屋川市内の受入協力施設は下表のとおりです。

■体験者のこえ

最近ボランティアに関心を持ち始め、夏休みを利用して、体験してみたいと思いました。そんなとき「ボ

ランティアセンター通信」で「夏のボランティア体験プログラム」がある

分野も施設も選択可能

申込期間：6月20日～8月17日
 実施期間：7月2日～8月31日
 (施設により、受入期間・受入対象者が異なります)

ボランティア受け入れ協力施設

分類	種別	施設名	住所
高齢者	特別養護老人ホーム	寝屋川石津園	石津中町 35-8
		百丈山合掌荘	成田東が丘 28-7
	デイサービスセンター	清徳デイサービスセンター	石津中町 15-13
		寝屋川十字の園	池田3丁目 1-33
	小規模多機能ホーム	いちよう園	打上高塚町 2-16
障害児者	障害者自立支援施設	市立すばる・北斗福祉作業所	大谷町 7-1
	障害児通園施設	市立あかつき園・ひばり園・第2ひばり園	大谷町 6-1
	知的障害児施設	月の輪学院	仁和寺本町 2-3-3
	障害者支援施設	隆光学園	寝屋南 2-15-1
	障害者自立支援施設	ワークセンター小路	小路南町 8-2
乳幼児	保育所	寝屋川めぐみ保育園	緑町 13-20

るのを知りました。去年の今頃でした。社協をたずねて、高齢者施設を紹介されました。

お年寄りと接すること、

ボランティアすること大きな喜びを感じられたのと同時に、高齢社会のこれからの大変さを実感しました。(大学生)

校区ボランティア部会紹介

感謝の言葉に励まされて

国松緑丘校区

4月18日、国松会館には毎月開かれる「ほっとステーション」に76人のお年寄りと施設の車いすの招待者が集まりました。

地域の人に寄付してもらった竹の子料理の昼食後は交流。続いて悪質商法の前講座の学習会です。

食事スタッフは『おいしい』と言われてやりがいがある」と。他のスタッフはみなさんのようすを見て気配りや声かけを担当。

現在、部会員27人と自治会長、福祉委員が一緒に活動しているので男性も多く、地域交流会で、子育てサロン、小学生との七夕まつり、クリスマス会、また外出困難なお年寄りのため

【おしゃべりサロン】活動をしています。「ボランティアの高齢化もあつて多くの行事を進めて行くのは大変



→ 食事の準備に忙しいスタッフのみなさん。

だが、みなさんの喜ぶ顔や感謝の言葉に励まされて地域のために協力しあっている」とのこと。

福祉委員長をはじめ、すべての役員がボランティア活動をしている校区でした。

「モチベーション再発見講座」



講師の説明に熱中

今後の活動に活かしたい

5月14日からの1週間、総合センターで「第7回にこここボランティアまつり」が開かれました。

今回もパネル展示や体験、舞台発表など活動が紹介され、たくさんのボランティア関係者や一般のみなさんでにぎわっていました。

○参加した人からは○

- ・一般参加のバレエダンスの披露があると聞いていました。きれいな踊りにうっとりしました。
- ・フリーマーケットや野菜・花の販売コーナーは毎回楽しみにしています。今日は寄せ植えを一鉢買いました。
- ・ボランティアの理解や交流も深まり意義深い催しになりましたね。

こここボランティアまつり

おかげさまで大盛況

「ボランティア活動を新たな気持ちで続けていくための“モチベーション”再発見講座」が6月11日に開かれました。

ボランティア活動とは【自発性・利他性・無償性・創造性・先駆性】という話からはじまり、講師の提案したテーマに沿って、全員が発言できる参加体験型

で進められました。

「講師の巧みな進行と実ある内容に萎えかけていた活動への気持ちに、ちよつと充電できたかな」また「やる気・創造、創出」のメカニズムについて学びました。これからのボランティア活動に役立てていきたい」との感想も寄せられました。



ボランティアと個別援助活動

テーマ決めて解決策を検討

6月8日、保健福祉センター会議室で個別ケース検討会議が開かれました。

この会議は、各校区福祉委員会で個別ケースの担当者を対象に、地域の中で起こる事例について、参加者が意見を出し合い支援のあり方を考えるためのものです。

この日のテーマは『精神を患うひとり暮らし高齢者への支援について』。『専門職のすばやい対応が大切』『地域で信頼できる人が一人いるだけで支援の進み方が違う』また『専門職と福祉委員やボランティアがいつしよの席に座り、支援の仕方を考えていく場づくりが必要ではないか』など、参加者全員で意見を出し合いながら確認、検討していきま

グループ別に解決策を考える参加者

＊当会議は校区代表対象（7月・9月・10月）のほか、各コミセンエリアで一回ずつの開催を予定しています。

ボランティア活動調整報告

【当ボランティアセンター取り扱い調整分（施設・団体に限定）】

月	活動日	活動先〔施設・団体〕	活動分野	活動内容	人数	対応 〔ボランティア・校区・団体〕
4	3・17	デイサービス友・遊	高齢者	行事援助	4	東
	3	さくら草	障害者	訓練補助	2	成美
	4・5・6・9・10	たのしい家寝屋川	高齢者	行事援助	4	池田・桜・個人
	5・12・17	ソレイユねやがわ	高齢者	行事援助	6	第五
	9	うずまさデイサービス	高齢者	行事援助	2	東
	10	ケアセンターそよ風	高齢者	行事援助	3	ほうれんそう
	10・17・24	小規模多機能いちよう園	高齢者	行事援助	6	明和
	12	筋難病 ひまわり会	障害者	訓練補助	1	中央
	14・18・21・24・26	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	10	明和・東・明德・個人
	20・25・27	たんぼぼ支援センター	乳幼児	保育	6	明和
	23	ボランティアセンター		通信折込	3	個人
24	つかさの家	高齢者	行事援助	1	個人	
5	1	さくら草	障害者	訓練補助	2	西
	7	デイサービスきぼう	高齢者	行事援助	4	夢楽らいぶ一座
	8・15・22・29	小規模多機能いちよう園	高齢者	行事援助	8	明和・個人
	10・31	健康増進課	子ども	保育	6	さくら・啓明
	12・16・19・25・28	グリーンヒル淳風	高齢者	行事援助	10	明德・明和・東・個人
	15・18	たんぼぼ支援センター	乳幼児	保育	6	明和
	17	筋難病 ひまわり会	障害者	訓練補助	1	中央
	19	はたのさと	障害者	行事援助	5	東
	19	障害児者を守る親の会	障害児者	行事援助	6	国松緑丘・北・桜



「まちかど福祉相談所」の役割

身近な福祉相談の実施と専門機関への橋渡し、地域住民が集い、交流し、触れ合うための地域の拠点
福祉サービスに関する情報、ボランティア情報や地域の福祉活動情報の提供

エリア (校区名)	相談日	場所	電話番号
■東北コミセン■ 第五校区 明德・宇谷校区	毎週木曜日 午前10時～12時	第五校区ふくしハウス	832-8303
	第2木曜日 午前10時～12時 第4木曜日 午後1時～3時	明德地域交流センター (旧明德小学校)	821-2105
■西コミセン■ 西校区 池田校区 桜校区 点野校区	毎週木曜日 午前10時～12時	西校区福祉委員会池の里活動室	827-7838
	第1・3水曜日 午前10時～12時	池の里市民交流センター内 池の里いきいき教室	827-8009
■南コミセン■ 堀溝校区	毎週木曜日 午前10時～午後3時	堀溝いきいき教室	821-8294
■東コミセン■ 梅が丘校区	毎週月曜日 午後1時～午後4時	府営打上住宅 B4集会所	823-0258
■西南コミセン■ 和光校区 神田校区 成美校区 啓明校区	毎週水曜日	わこう (和光小学校内)	839-9480
	第2・第4火曜日 午前10時～12時	寝屋川市立エスポアール 旧館 1階スタディールーム	080-2513-3901
■西北コミセン■ 北校区 木屋校区 田井石津校区	毎週金曜日 午後1時30分～4時	寝屋川市西北地域包括支援センター内	831-2846

困ったときの
 まちかど福祉相談所
 コミセンエカマでと設置



ボランティアセンターの新相談員



衣川 小夜子

元気いっぱいがんばります。よろしくお願ひします。

新しい文化紹介

自分たちの特技をいかして地域に奉仕したいとの思いで平成16年3月に設立。

施設訪問でのハーモニカ演奏をはじめ「山田池公園フェスティバル・関西連盟ハーモニカ祭り・阪奈協議会ハーモニカ演奏会」などに参加しながら活動中。

寝屋川ハーモニカ同好会

活動内容：アンサンブル演奏、個人演奏でお年寄りと一緒に歌う。(童謡、懐かしい歌、演歌、唱歌など)

登録のいきさつ：3月、ふれあいプラザ香里

での寝屋川ハーモニカ同好会発表会(定期演奏会)後の反省会で、演奏もレベルアップしているし、要請があれば高齢者への慰問、ふれあい、地域の方へ貢献しようという話になった。

